

東京都 ビーチボール協会 ガイドライン

本ガイドラインは、新型コロナウイルス対策に関するスポーツ庁、日本スポーツ協会から示された各種の指針や、感染症対策専門家会議での状況分析や提言を踏まえて、ビーチボール競技における大会・教室・講習会・研修会等再開に当たっての基準と再開後の開催時における感染拡大予防のための留意点について、東京都ビーチボール協会がまとめたものです。国や都道府県、関係官庁の指針と合わせて、ビーチボール競技に特化したこのガイドラインも参考にしてください。

2020年8月10日
東京都ビーチボール協会

－目次－

- I. ビーチボール大会等の再開に当たっての基準
 1. ビーチボールに関わる活動実施の基本的対応について
 2. 活動再開における基本的な実施判断基準について
- II. 大会・講習会・研修会の開催、実施時における留意点
 1. 大会等の参加募集時の対応
 2. 当日の参加受付時の留意事項
 3. 大会参加者への対応
 - ①書類による体調の確認
 - ②マスクの準備等
 4. 大会等の主催者が準備・配慮すべき事項
 - ①大会会場・競技備品類
 - ②運営スタッフの体調確認
 - ③式典等、運営の簡略化
 - ④配付書類の廃止、電子化
 - ⑤トイレ・手洗い場所
 - ⑥更衣室、喫煙所、休憩・待機スペース
 - ⑦競技に関する注意事項
 - ⑧観客の管理
 - ⑨ゴミの廃棄
 5. その他の留意事項
 6. 実施事例
 7. 付録

I. ビーチボール大会等の再開に当たっての基準

大会等の再開に当たっては、以下のとおりご対応するものとする。なお、当該大会等が開催される都道府県の方針に従うことが大前提であり、開催や実施の判断に迷われた際は、開催地や施設が所在する都道府県のスポーツ主管課や衛生部局等へご相談すること。また、実施にあたり、別紙①（新型コロナウイルス対応チェックリスト・主催協会用）を使用すること。（7項付録参照）

1. ビーチボールに関わる活動実施の基本的対応について

社会経済活動の再開の目安を基準に、「新しい生活様式」定着までの移行期間およびその後の期間を経て、下記のとおり段階的に緩和していくことを原則とします。

詳細は、5月25日に内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長より発信された「移行期間における都道府県の対応について」を参照。

URL https://corona.go.jp/news/pdf/ikoukikan_taiou_0525.pdf

2. 活動再開における基本的な実施判断基準について

- ① 多くの参加者（目安として100人以上）が出場する大会やイベントの開催については、感染リスクへの対応が整わない場合は中止または延期するよう都道府県知事からの要請等に基づき、慎重に対応すること。
- ② 屋外での大会や地域の講習会、研修会などについては、各都道府県知事のイベント開催制限の方針に反しない形であれば、適切な感染防止対策を講じたうえで、それらのリスクの判断を行い、感染拡大のリスクの低い活動については注意をしながら実施することができ。講習会、研修会においては参加者を把握した上で開催すること。
- ③ 体育館内での大会への参加チーム数の上限については、開催する会場における制限を考慮し、また、体育館の設備（アリーナ面の広さ、観客席など）の状況を判断した上で、決定するものとする。

II. 大会・講習会・研修会の開催、実施時における留意点

1. 大会等の参加募集時の対応

大会等の主催者は、参加募集に際し、感染拡大の防止のために参加者が遵守すべき事項を明確にして、協力を求めること。

参加者の安全を確保するため、これを遵守できない参加者には大会等への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ることを周知することが必要。なお大会等の主催者が参加者に求める感染拡大防止のための措置として、以下が挙げられる。

- ① 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（大会当日に書面で確認を行う）
 - a. 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - b. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - c. 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② マスクを持参すること参加受付時や着替え時等の競技を行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること
- ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施
- ④ 他の参加者、主催者スタッフ等との距離を確保すること
（できるだけ2 m以上／障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- ⑤ 大会開催中は大きな声での会話、応援等をしないこと
- ⑥ 感染拡大防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと
- ⑦ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

2. 当日の参加受付時の留意事項

大会等の主催者は、大会当日の受付時に参加者が密になることを防止し、安全に大会等を開催・実施するため、以下に配慮して受付事務を行うこと。

- ① 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること。
- ② 37.5度以上の発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼びかけること（状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限すること）
- ③ 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること。
- ④ 参加者が距離をおいて並べるように目印等を設置すること。
- ⑤ 受付を行うスタッフには、フェースガードやマスクを着用させること。
- ⑥ インターネットやスマートフォンを活用した受付の普及を一層図ることで、受付場所での書面の記入や現金の授受等をできるだけ減らすようにすること。
- ⑦ 大会当日に限らず、前日などにも受付を実施し、極力混雑を避けること。

3. 大会参加者への対応

① 書類による体調の確認

参加チーム代表者には大会当日、以下の事項を記載した書面の作成・提出を依頼すること。
(別紙②健康チェックシート：7項付録参照)

- a. 全員の氏名、年齢と代表者の住所、連絡先（電話番号）※個人情報の取り扱いに留意
- b. 大会当日の体温（全員分）
- c. 大会前2週間における以下の事項の有無（全員分）
 - i. 平熱を超える発熱
 - ii. 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状、嗅覚や味覚の異常
 - iii. 体が重く感じる（だるさ、倦怠感）、疲れやすい、息苦しい（呼吸困難）等
 - iv. 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - v. 同居家族や身近な知人の中で感染が疑われる方の有無
 - vi. 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触の有無

② マスクの準備等

大会の主催者は、参加者にマスクを準備するよう依頼する。（1. ②）

- a. マスクの着用は参加者等の判断による（※）ものとしますが、参加受付着替え、表彰式等の直接競技を行っていない間、特に会話する時には、マスクの着用を求められることが考えられる。
- b. 大会に参加する個人や団体は、大会の前後のミーティング等においても3つの密を避けること、会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮することが求められる。

※ 役員や競技補助員の試合中におけるマスクの着用については、主催者側で柔軟に対応すること

4. 大会等の主催者が準備・配慮すべき事項

① 大会会場・競技備品類

ビーチボールの大会等は体育館内で行われることがほとんどであり、換気については特に留意が求められる。また、競技で使用する備品には不特定多数の参加者が直接手を触れる物が多く、開催期間の前後を含む継続した対応が必要。

- a. 屋内で競技を実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行う。窓を開けることができる環境でも、競技中は遮光の関係で暗幕を閉じる必要があるが、セット間など定期的に開放して外気を取り入れる等の換気を行うこと。空調設備の活用や、必要に応じて扇風機を併用するなどの工夫を心掛ける。
- b. 試合球はできるだけ複数個用意し、こまめに消毒・清掃を行って交換しながら使用する。
- c. 線審のフラッグ、得点板、モップ等、試合で使用する備品類のこまめな消毒など衛生対応に留意する。
- d. 主催者は、感染対策とともに熱中症のリスクにも備えること。特に、マスクを着用していると水分補給を忘れてしまうことにより体温が上昇することがあるため、こまめに水分を補給すること。

※役員や競技補助員の試合中におけるマスクの着用については、主催者側で柔軟に対応する。

② 運営スタッフの体調確認

参加チームのみならず、運営に関わるすべてのスタッフの検温を実施し、3. ①の選手と同様の確認を行うことが求められる。運営リストにはない関係来場者などを正確に把握し、全員分の体調確認も徹底するよう努める。（別紙②健康チェックシート：7項付録参照）

③ 式典等、運営の簡略化

プロトコル時、キャプテンと審判間のあいさつや試合前後の握手に関して 当面は密を避ける運用の形とする（実施例は、6項を参照）。また、開・閉会式、表彰式などでは、参加者が密になる状態を避けるため、式典参加者の数を減らす、内容を簡略化するなど、必要性に応じながらも柔軟な対応が求められる。

④ 配付書類の廃止、電子化

書類の手渡しによる感染拡大を防ぐため、書類は極力電子化して配付する。

⑤ トイレ・手洗い場所

洗面所（トイレ）は感染リスクが比較的高いと考えられるため、大会等の主催者は、以下に配慮して管理することが求められる。また参加者がイベント開催・実施の間に手洗い・うがいをこまめに行えるよう、以下に配慮して手洗い場所を確保することが必要。

- a. トイレ内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒する
- b. トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する
- c. 手洗い場には石鹼（ポンプ型が望ましい）を用意する。「手洗いは30 秒以上」等の掲示をする
- d. 可能な範囲で、手を拭くための使い捨てペーパータオルを用意する（参加者にマイタオルの持参を求めてもよい。布タオルや手指を乾燥させる設備は使用しないようにする）
- e. 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意する

⑥ 更衣室、喫煙所、休憩・待機スペース

更衣室、喫煙所、休憩・待機スペースも感染リスクが比較的高いと考えられるため、大会等の主催者は、更衣室や、一時的な休息をするための休憩スペース、参加者等が参加前の確認を受ける待機スペース（招集場所）について、以下に配慮して準備することが求められる。

- a. 他の参加者と密にならないよう広さにゆとりを持たせる（障がい者の介助を行う場合を除く）
- b. ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者数を制限する等の措置を講じる
- c. 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）については、こまめに消毒する
- d. 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮する
- e. 喫煙所は屋外に設けるか換気のできる空内に設置してもよい。その際に互いの距離をとり、互いの会話は避けること。十分なスペースが確保できない場合には、人数を制限する
- f. 更衣室の利用範囲を更衣のみとし、シャワー・ロッカーの利用を禁止する
- g. 更衣室の規模により、人数制限（定員）を決める（施設管理者との協議）
- h. 食事場所は、飛沫が発生し感染リスクが高いことから、場所を指定し、密にならないよう感染拡大予防を徹底する。屋外への設置を推奨する
- i. 参加者の待機スペースは、利用可能範囲を示し、使用場所を指定し、席の移動を禁止する
- j. 定期的な消毒をする

⑦ 競技に関する注意事項

プレー中も選手、スタッフ同士の接触機会を減らすよう、以下の点に配慮が求められる。参加チームには、競技前に周知のうえ協力を要請する。

- a. 体育館内での大会への参加チーム数の上限については、開催する会場における制限を考慮し、また、体育館の設備（アリーナ面の広さ、観客席など）の状況を判断した上で、決定するものとする
- b. セットごとの換気など適切な感染防止対策の実施
- c. 試合前などの円陣や、ベンチでの集合時においてもできるだけ密集・接触を避ける
- d. 競技中のハイタッチは禁止。腕のタッチにとどめるも、できるだけ控えたい
- e. 競技中、靴底を手でさわらない
- f. ネット際などで、相手に向いた状態での発声は控える
- g. ベンチでは離れて座る。ウオームアップエリアでも密に気をつけて私語は慎む
- h. タオル、水ボトル、アイシングバッグなどの共用禁止
- i. 吹笛する主審・副審はフェイスガードを装着することが望ましい。フェイスガード装着ができない場合には、電子ホイッスルの活用を検討する。線審・得点係等は、マスクを着用する。また、こまめに水分補給を心掛け、熱中症予防対策を講じる。
- j. 毎試合終了後、主審→審判台、副審→記録表ホルダー、線審→旗、得点係→得点版、選手→コートを消毒する。《コートの素材を確認 実施》
- k. 主審・副審・線審・得点係は、手袋を（ゴム・ビニール・布等）を着用するのが望ましい。
- l. 選手同士や審判員との握手は行わない。トスは、フィジカルディスタンスを確保して行う。
- m. コールは、必要最小限とする。

⑧ 観客の管理

- 大会やイベントに観客の入場を認める場合には、マスクの着用をできるだけ課したうえ、観客出入口付近通路にアルコール等の手指消毒剤を設置するほか、観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らして間隔を空けるなどの対応が求められる。
- 特に、試合前後には観客の一斉移動が起こりやすく、通路等に人が押し寄せて密になる可能性が高いため、主催者によるコントロールが必要。体育館の壁際通路など、観戦場所が狭いスペースに限られる場合、当面は観客の入場を不可とする。
- 感染拡大の状況によっては、入場時の検温などを導入するのが望ましい。
- 応援については、大声での声援を送らないことや会話を控えること、会話をする場合にはマスクを着用することが求められるが、トラブル回避のためにもあらかじめ各チームに共通の目安を伝えておくことが有効。
- その他、会場内での飲食に関する規定や外履きを持ち込むための袋を持参する等の留意事項を周知することも必要。

※スリッパが準備できる会場でも、当面は貸与（使い回し）を控えて安全確保を優先すること。

⑨ ゴミの廃棄

鼻水、唾液などが付いたごみや使用済のテーピングなどはビニール袋に入れ密閉して縛り、回収する人はマスクや手袋を着用すること。作業後は必ず石鹸と流水で手を洗い、手指を消毒すること。

5. その他の留意事項

大会の主催者は、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報取扱いに十分注意しながら、大会当日に参加者より提出を求めた書面【上記 1. ①】について、保存期間（少なくとも1カ月以上）を定めて保存しておくこと。

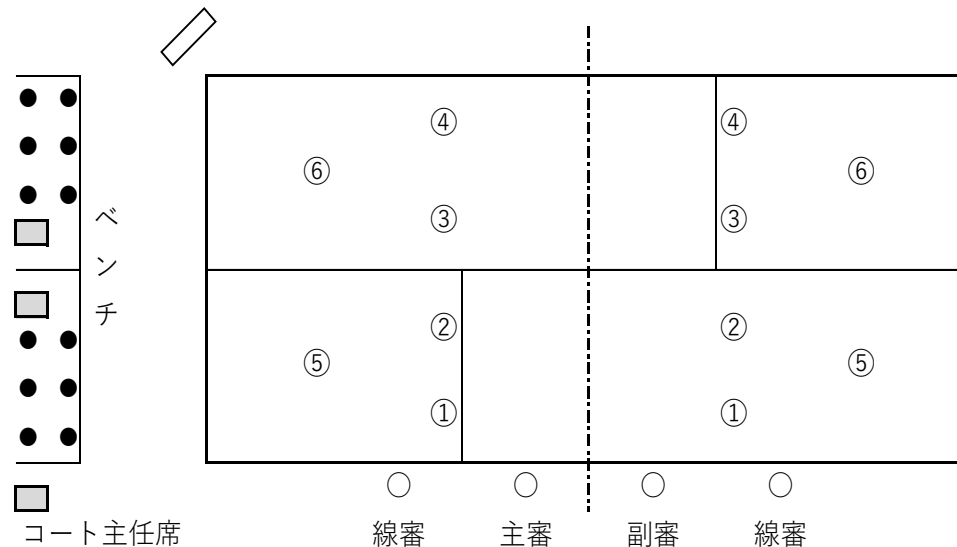
また、大会終了後に、参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、開催自治体の衛生部局とあらかじめ検討しておくことが必要。

※厚生労働省新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を活用することを検討のこと

6. 実施事例

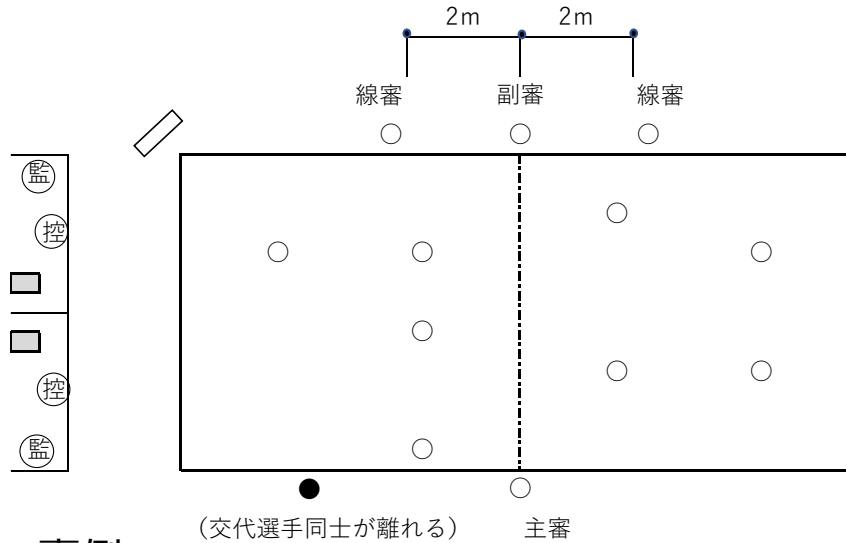
①プロトコル実施例A

- ◆ 主審・副審・線審・得点掲示員はマスク着用 主審・副審は電子ホイッスル又は、フェイスシールドを着用しホイッスルで進行する。フェイスシールド着用時、マスクの着用は、任意とする
- ◆ 副審の整列位置は選手の声が聞き取りにくいので中央とする。（線審の位置も変更になる）
- ◆ 選手は図の様にサービスラインの後方に等間隔で整列し主審に近い位置に監督及びキャプテンが整列する。
- ◆ 主審の確認事項終了後、キャプテントスを行いエンドラインに間隔を空け整列する。
- ◆ コートの入れ替えがある場合はネットをくぐらず反時計回りに進みエンドラインに整列する。主審の合図でコートインする。
- ◆ ベンチのエリアは大きくする。各チーム間口を305cmとる。
- ◆ 選手の●タオル・水ボトル・アイシングパックの共用は禁止し、個人でベンチ内に置く。



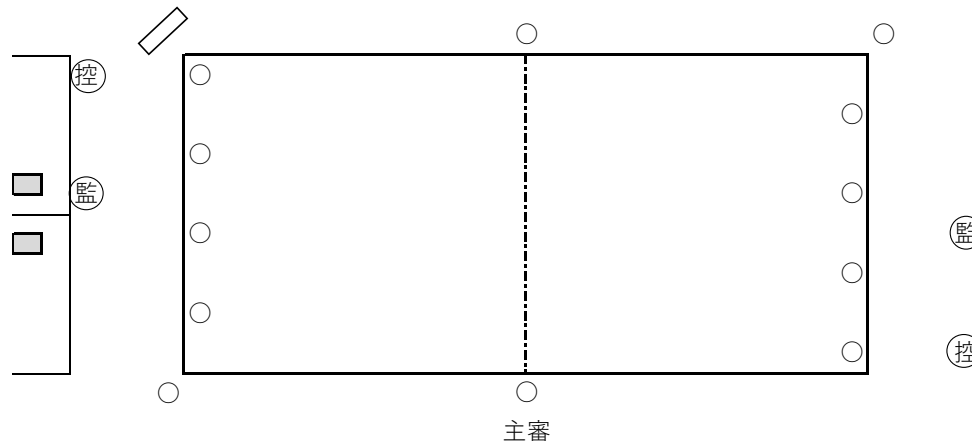
②選手交代例A

- ◆ 選手及び交代選手は十分な距離を置き主審の指示があるまで待機する。
- ◆ 副審は口頭にて線審にサービス順の変更を伝える。



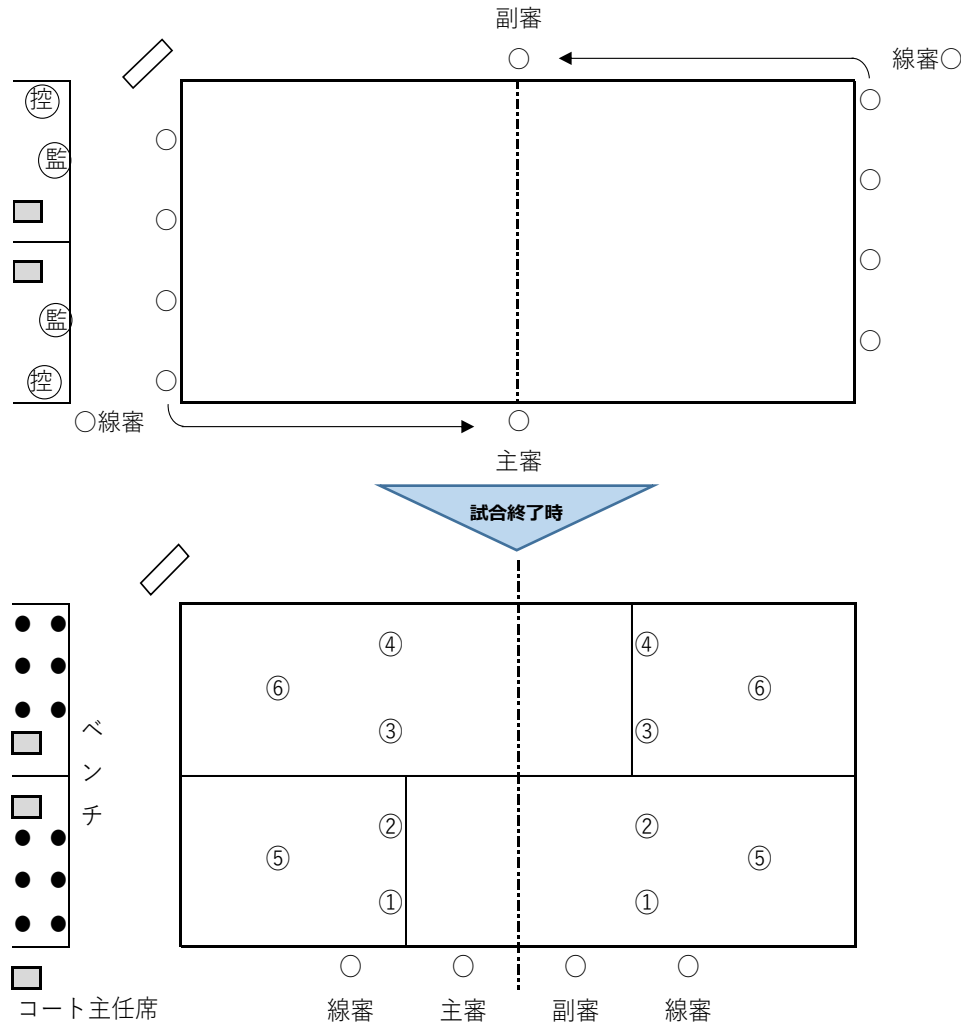
③タイムアウトの事例

- ◆ 十分な距離をとり指示をだす。
- ◆ 選手自身の水ボトル・タオル等ベンチより各自で持参する（返す時も同様）。但し、水ボトル及びタオル等をとりに行く等の時間はタイムアウトの時間に含まれない。



④チェンジコート及び試合終了の事例

- ◆ 選手は間隔を空けたままエンドラインに整列しチェンジコートをおこなう。
- ◆ 試合終了時に選手は、間隔を空けたままエンドラインに整列する。主審は、勝利チームをコール後、選手を試合開始位置に整列させる。審判団の位置も同様とする。



7. 付録

①新型コロナウイルス対応チェックリスト・主催協会用) : 1/2

競技会主催協会用 新型コロナウイルス対応版チェックリスト

シーン	項目	チェック欄	備考
1 準備 (~競技会前日)	① 試合会場・関係者の確認事項		
	① 主催協会は感染対策責任者を定める。		
	② 各参加チームの感染対策責任者を確認する。		
	主催協会の感染対策責任者は参加チームの感染対策責任者に以下の事項を事前に伝達する。 (1) 以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせる ・ 体調が良くない場合 (例: 発熱 (37.5度以上) ・咳・咽頭痛などの症状がある場合) ・ 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合 (2) 当日参加する選手・スタッフ全員がマスクを着用する (3) 全員の健康チェックシートに記入し提出してもらう (4) 競技会に参加する上で主催協会が示す注意事項を遵守してもらう		
	④ 参加チームの感染対策責任者にそれぞれの地域の自治体から会場となる地域への移動制限が解除されており、会場への移動が問題なく行えることを確認する。		
	⑤ 競技会に参加する全てのチームの選手全員が試合を行うために十分なトレーニングを行ってきたことを確認する。		
	⑥ 競技会に参加する全てのチームの選手・スタッフ全員が「新しい生活様式」に従って日々の感染症対策、健康管理を行っていることを確認する。		
	⑦ 競技会に参加する全てのチームの選手・スタッフの中に濃厚接触者として2週間の健康状態観察中の人がいないことを確認する。		
	⑧ 参加チームの選手の保護者ならびに関係者全員が競技会・試合開催を了解しており、参加チーム、会場、試合数、開始時間を理解していることを確認する。		
	主催協会の感染対策責任者は、事前に下記事項を試合会場の管理者等に確認する。 ⑨ ①試合会場が感染対策を十分に行っているか否か。 ②他団体がいつまで同会場を使用するか。直前に使用する場合、当該団体の感染防止対策が適切になされているか否か。		
	⑩ 試合運営に関わる全員が感染対策を認知し、運営準備段階からマスクの着用、手洗いの散行を行う。		
	⑪ 前日及び当日に体調の悪い人は躊躇せず申し出て会場に来ない、足を運ばないルールを試合関係者間で事前に徹底する。		
	⑫ 試合に関わる全ての人 (ボランティア、試合会場、その他関係者) に健康チェックシートを提出してもらい健康状態チェックを行う。		
	⑬ 健康状態チェックで準備段階で体調が悪い人がいた場合は、すぐに帰宅させる。		
	⑭ 代表者・監督会議をWEBで実施する。または連絡・共有事項を事前にチーム代表者にメール展開することで、その代わりとする。		
	⑮ 試合会場のロッカールームが狭い、換気がしにくい構造の場合、別の部屋を準備するか屋外にテントの仮設ロッカーを設置する。		
	⑯ 可能な限り、更衣室、ベンチ、審判控室、トイレ等の消毒を行う。		
	⑰ トイレの個室に「流す時は蓋を閉める」表示、洗面所に「手洗いは30秒以上」の掲示を行う。		
	② 観客対応		
	① 新型コロナウイルスの感染拡大注意とされる地域においては無観客試合が推奨される。		
	② 観客を場内に入れる・入れないの判断は、自治体ごとの集会・イベントに関する方針に従う。		
	観客入れる場合は、以下の点についてホームページ等で事前アナウンスを行う。 ① 具合の悪い人は来場を見合わせてもらう ② マスクを着用してきてもらう (但し、人と十分な距離 (少なくとも2m以上) が確保できる場合には、マスクをはずすことができる)。 ③ 各自2mの間隔をあける。 ④ 声を出しての応援をしない等の事前アナウンスを徹底する。		
	④ 来場者を場内に入れる場合は、サーモグラフィー、体温計による体温チェックを検討する。体温チェック実施困難な場合は、ゲートに人員を配置し、体調の悪い人は観戦をご遠慮いただくアナウンスを定期的に流す。		
	⑤ 観客を入れる場合は、場内において③を徹底する。		
	⑥ 飲食売店の運営を行う場合は、感染対策を徹底する。アルコール類の販売はしないことを徹底する。		
	⑦ 会場内各所 (入退場ゲート、トイレ) に設置するアルコール消毒液を準備する。		
	⑧ 上記②-③)~⑥)の対応ができない場合は無観客試合として、事前にその旨をホームページ等で告知する。		
	③ 備品の確認		
	① 感染対策実施のために必要な備品リストを作成し、当該備品の準備状況を前日までに確認する。		
	感染対策実施のために以下の備品を準備する。 ② ①運営スタッフ用マスク (個) ②アルコール消毒液 (個) ③液体石鹸 (個) ④ペーパータオル (個) ⑤ゴミ袋 ⑥ドアストッパー		

①新型コロナウイルス対応チェックリスト・主催協会用）：2/2

2 試合当日	④運営スタッフの健康状態の確認、設営等		
	①	会場で運営に携わる人全員がマスクを着用していることを確認する。	
	②	人員配置を必要最小限に絞る。(明確な業務のない人は来ない)	
	③	試合に関わる全ての人(ボランティア、試合会場、その他関係者)の試合当日に健康管理表を提出してもらい健康状態チェックを行う。	
	④	④-(3)で体調が悪い人がいた場合は、どのようなポジションの人でもすぐに帰宅させる。	
	⑤	全て諸室のドアを全て開けた状態に保つ。(換気、ドアノブを触らないよう配慮。)	
	⑥	諸室の窓を全て開けた状態に保つ。(換気)	
	⑦	各諸室にアルコール消毒液を設置する。	
	⑧	各諸室でスタッフが正面に座らない座席の配置を行い、お互いが1.5~2mの間隔を空けるようにする。	
	⑨	各トイレに液体石鹸とペーパータオルを設置する。	
	⑩	ロッカールームにおける感染防止の注意点を伝える。	
	⑤参加チームへの確認事項		
	①	両チームメンバー、スタッフの健康管理表を提出してもらい健康状態の確認を行う。	
	②	両チーム、審判との握手を実施しない。	
	③	得点時にハイタッチ、抱擁を行わない。	
	④	コート内でも咳エチケットを守る。	
	⑤	同じボトルを他の選手と共有しない。	
	⑥	タオル等、リネンを他の選手と共有しない。	
	⑦	コート上でチームメイト、審判員と会話する際にも距離についてしっかりと配慮する。	
⑥審判員との事前確認事項			
(1)	審判員の健康管理表を提出してもらい健康状態の確認を行う。		
(3)	試合前のセレモニーを控えてもらい、トスもキャプテン同士の距離を2m以上確保する。		
(6)	試合の記録記載のために、選手、指導者、審判員等が共通の文房具類を使用する場合は、消毒する。		
3 試合後	後片付け		
	(1)	更衣室など窓を開け、更衣の順番についてはローテーションを組む等の工夫をする。	
	(2)	シャワーの利用は禁止する。	
	(4)	試合会場のルールに従い、ゴミを密封した状態で処分する。	
	(5)	チーム出発後、ロッカールーム及び審判控室の消毒を行う。	
	(6)	担架を使用した場合は、消毒を行う。	
	事後対応		
	(1)	帰宅後14日以内に運営に関わった人の中から感染者が出た場合は、日本協会に報告する。また参加チームの感染対策責任者にその旨伝える。	
(2)	帰宅後14日以内に参加チームから感染者が出た報告があった場合は、日本協会に報告する。		

②健康チェックシート

選手用

コロナ対策 健康チェックシート								
<p>本健康チェックシートは、東京都ビーチボール協会が開催する大会において新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する為、参加者の健康状態を確認する事を目的としています。</p> <p>本健康チェックシートに記入頂いた個人情報について、当協会は、厳正なる管理のもとに保管し、大会運営関係者の健康状態の把握、来場可否の判断及び必要な連絡の為にのみ利用します。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除きご本人の同意を得ずに第三者に提供致しません。但し、大会会場にて感染者またはその疑いのある方が発見された場合に、必要な範囲で保健所等に提供することがあります事をご承知ください。</p>								
チーム名								
代表者								
代表者連絡先								
<p>① 発熱（37.5度以上）が無い。</p> <p>② 嗅覚や味覚の異常が無い。</p> <p>③ だるさ・息苦しさ等が無い。</p> <p>④ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触が無い。</p> <p>⑤ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方が居ない。</p> <p>⑥ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触が無い。</p> <p>※該当しない場合は○を入れ、該当する場合は×印を記入する事。</p>								
	氏名	連絡先	①	②	③	④	⑤	⑥
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
帯								
帯								
<p>※上記チェックシートへの未記入・×印があった場合、競技参加を見合わせて頂く事があります。</p> <p>注意事項</p> <p>①感染者が発生した場合は、関係機関に名簿を提出する事。</p> <p>②安全確保の為、虚偽の報告は行わない事。</p> <p>③本紙に記載された方は、個人情報の取り扱いに承諾したとみなす。</p>								
年 月 日		責任者名 _____						
東京都ビーチボール協会 会長 中屋 文孝 殿								

スタッフ用

コロナ対策 健康チェックシート								
<p>本健康チェックシートは、東京都ビーチボール協会が開催する大会において新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する為、参加者の健康状態を確認する事を目的としています。</p> <p>本健康チェックシートに記入頂いた個人情報について、当協会は、厳正なる管理のもとに保管し、大会運営関係者の健康状態の把握、来場可否の判断及び必要な連絡の為にのみ利用します。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除きご本人の同意を得ずに第三者に提供致しません。但し、大会会場にて感染者またはその疑いのある方が発見された場合に、必要な範囲で保健所等に提供することがあります事をご承知ください。</p>								
<p>① 発熱（37.5度以上）が無い。</p> <p>② 嗅覚や味覚の異常が無い。</p> <p>③ だるさ・息苦しさ等が無い。</p> <p>④ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触が無い。</p> <p>⑤ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方が居ない。</p> <p>⑥ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触が無い。</p> <p>※該当しない場合は○を入れ、該当する場合は×印を記入する事。</p>								
	氏名	連絡先	①	②	③	④	⑤	⑥
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
<p>※上記チェックシートへの未記入・×印があった場合、競技参加を見合わせて頂く事があります。</p> <p>注意事項</p> <p>①感染者が発生した場合は、関係機関に名簿を提出する事。</p> <p>②安全確保の為、虚偽の報告は行わない事。</p> <p>③本紙に記載された方は、個人情報の取り扱いに承諾したとみなす。</p>								
年 月 日		責任者名 _____						